

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度 岐阜県立飛騨高山高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年2月10日（木）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
委員 宮下 伸一 高山信用金庫 理事
岩佐 喜美子 高山赤十字病院
辻 直司 岐阜県肉用牛協会 会長
垣根 真吾 岐阜県指導農業士
島谷 和美 自営業（食堂経営）
松井 良一 育友会長（全日制）
中澤恵里子 育友会長（定時制）
下田真由美 部活動後援会長（通信制）
中田 彰 同窓会長
学校側 奥田 寛 校長
瀬瀬 斗一 副校長（全日制山田キャンパス）
垣下 大吾 副校長（定時制・通信制）
金山 純一郎 事務部長
高野 圭 教頭（全日制岡本キャンパス）
小田 雅人 教頭（全日制岡本キャンパス）
島田 正幸 教頭（全日制山田キャンパス）
野中 賀雄 教頭（通信制）
西垣 光洋 教諭（全日制岡本キャンパス・教務主任）
砂田 正明 教諭（全日制山田キャンパス・教務主任）
近藤 哲也 教諭（全日制岡本キャンパス・生徒指導主事）
柳原 博之 教諭（全日制山田キャンパス・生徒指導主事）
荒川 一弘 教諭（全日制岡本キャンパス・進路指導主事）
穂波 輝樹 教諭（全日制山田キャンパス・進路指導主事）
田中 一幸 教諭（全日制山田キャンパス・農場長）

5 会議の概要

(1) 自己評価・学校関係者評価について

ア. 全日制

<学習指導>

意見1：生徒アンケートの結果は肯定的評価が高く、よい結果である。生徒達は、ICT機器の活用や、タブレットの活用により、興味深く学習できている。

意見2：ICT機器をうまく利用できていることがよい。

意見3：授業がわかり易いのは生徒にとって1番大切である。

意見4：自分の意見が堂々と発言できる雰囲気大切である。

意見5：現代社会においては、スマホを見れば大体のことは調べられ、模範解答を得ることができ、便利な時代になったが、反面、考える力が養われない、少し特殊なケースであると判断が付かない、マニュアル人間化していて指導に戸惑うことがある。人の考えは様々であるはずで、あらゆる角度から結果を想定し、最良を導き出す思考や判断力が社会人には必要である。課題に対して、様々な意見を出し合い、正解は一つではないこと、他人の考えを否定せず受け入れることも大切なことである。

<生徒指導>

意見1：MSリーダーズ活動に多くの生徒が参加している。生徒の達成感、充実感がより高まるとよい。

意見2：校外で姿を見かけても、制服をきちんと着こなし、挨拶もよくできている。

意見3：挨拶と正しい身だしなみの習慣が定着しているのがよい。

意見4：いじめ、差別をなくす為に、挨拶がしっかりでき、互いをリスペクトできる雰囲気作りを進めてほしい。

意見5：凶悪な犯罪が昔と比べ多い気がする。社会に順応できず、自分の居場所や存在意識が湾曲し、身勝手で見知らぬ他人を巻き添えにする事件が多く残念に思う。生徒には、決して一人ぼっちではないこと、そのためにも積極的に人とのふれあいや交流関係を増やしてほしい。挨拶は、それを実践する一歩ではないかと思う。声かけが全ての始まり、行動しなければ何も始まらず、相手も心を開かない。

<進路指導>

意見1：全員希望通りとはいかないが、生徒や保護者が肯定的評価をしている点は大変よい。

意見2：今後も、個々に寄り添った進路相談に時間をかけてほしい。

意見3：コロナ禍で難しいときでもあるが、地域としても協力していきたい。

意見4：大きな決断を迫られる時期で、悩むのは当然である。自分の人生であり、かといって進路選択がいつも正しいわけでもない。「とிரいあえずやってみたいこと」「できたら次にやってみたいこと」大切なのは一歩一歩着実に、目の前にあるできそうな目標をまずクリアすることではないか。やり直しは十分にできる。

イ. 定時制

<学習指導>

意見1：生徒ひとり一人の学力を把握し、少人数指導やオンライン授業など個に応じた指導が充実している。

意見2：ICT機器の活用は実際の社会生活にも活かせる。

意見3：分かり易い授業は、集中でき、理解力が上がり、大事である。

<生徒指導>

意見1：外部講師による講話は、生徒達に非常に有効である。主体的に判断・行動する力が身に付くとよい。

意見2：生徒への理解がありサポートできる体制がある。

意見3：モラル、マナーなど、他人の立場になって考えられることが大切である。学校、社会、地域集団という意識も高めてほしい。

<進路指導>

意見1：職場体験等、進路行事が充実していてよい。来年度は保護者にも進路関係の行事を実施してほしい。

意見2：高い評価を受けていることに感心した。

意見3：ジョブコミュニケーションなど就職につながる学習がよい。

ウ. 通信制

<学習指導>

意見1：学習計画についての支援や精神的なケアを必要とする生徒の情報を教員間で共有し、積極的に指導が行われることはよい。

意見2：全ての生徒をもれなく教育の場に導いている先生方の努力は大変評価できる。

意見3：自学自習は大変難しいと思う。生徒へのきめ細かい支援をお願いしたい。

<生徒指導>

意見1：社会経験の少ない生徒も多く、これまで以上にカウンセラーなどの充実が必要である。

意見2：情報発信に関しては、様々な情報があるため、情報リテラシーに関する指導をお願いしたい。

<進路指導>

意見1：卒業後の「新たな一歩」を踏み出すことが難しい生徒が多いことが分かった。

意見2：通信制での進路指導は難しい面が多いとは思いますが、指導の継続をお願いしたい。

意見3：今後も生徒個々の特徴を理解し、親身に指導していただきたい。

(2) 全日制生徒心得について

意見1：登下校の生徒達をよく見かけるが、身だしなみもしっかりしており、マナーも守られていると感じる。

意見2：殆どの生徒がスマホを持つ時代に、細部に亘るまで指導することは難しいと思うが、物事の良し悪しがしっかり判断できる指導ができていれば大丈夫である。

意見3：制服は社会人となっても、とても大切なものであり、正しく着用することによって信頼にもつながる。

意見4：本人の体調や体型、考え方によってスカートまたはスラックスを選べることは、学校生活を心身ともに健やかに過ごせるきっかけになる。

意見5：身だしなみについては、社会人になる準備と考えた方が自然である。大人びたい、背伸びをしてみたいと思う年頃だと思うが、あまり个性的で目立つような生徒は見受けられない。これまでの長い伝統、校則を変えることは勇気がいるが、時代に即して変化も必要である。

(3) 活躍する生徒達に関すること

意見1：多くの生徒が様々な賞を受賞するほどの活躍をしている。多くの自信と達成感が湧きこれからの生活にもプラスになることがあると感じた。

意見2：生徒達の活躍は、コロナ禍でも目を見張るものがある。OBとしても鼻が高い。

意見3：畜産に携わる者として、畜産に携わっている生徒の活躍には、とても感謝している。コロナ禍で大会や行事を従来通り行えないが、しっかり目標を持って頑張ってもらいたい。

意見4：様々な方面で活躍する生徒達が新聞や市民時報などメディアを通して紹介されており、とても嬉しく思う。それらは自信にもつながり、記事を読んだ方も嬉しいニュースとして、日々の生活を明るくできるきっかけになる。

意見5：コロナ禍においても生徒達が目標に向かって努力していることがよい。

(4) その他

意見1：コロナ禍で先生方も大変苦勞をしていると思うが、今後も頑張ってもらいたい。

意見2：通信制でも長距離を徒歩で通学する生徒もおり、自信の所持品を保管できるロッカー等があるとよい。

6 会議のまとめ

令和3年度第3回学校運営協議会は書面開催となった。自己評価・学校関係者評価をはじめとする各項目について、各委員より肯定的な意見を多く得ることができた。全ての意見を全職員で共有し、特に、ここで挙げられた来年度への諸課題について早急に校内で検討し、改善に向けて具体的な取組を検討していく。